

# 2011年3月期 第1四半期決算説明資料

2010年8月  
小野建株式会社

## CONTENTS

- I. 2011年3月期 1Q総括、経営概況
- II. 品種別販売状況(単体)
- III. 連結損益計算書、連結貸借対照表
- IV. 2011年3月期今後の経営環境

### 将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

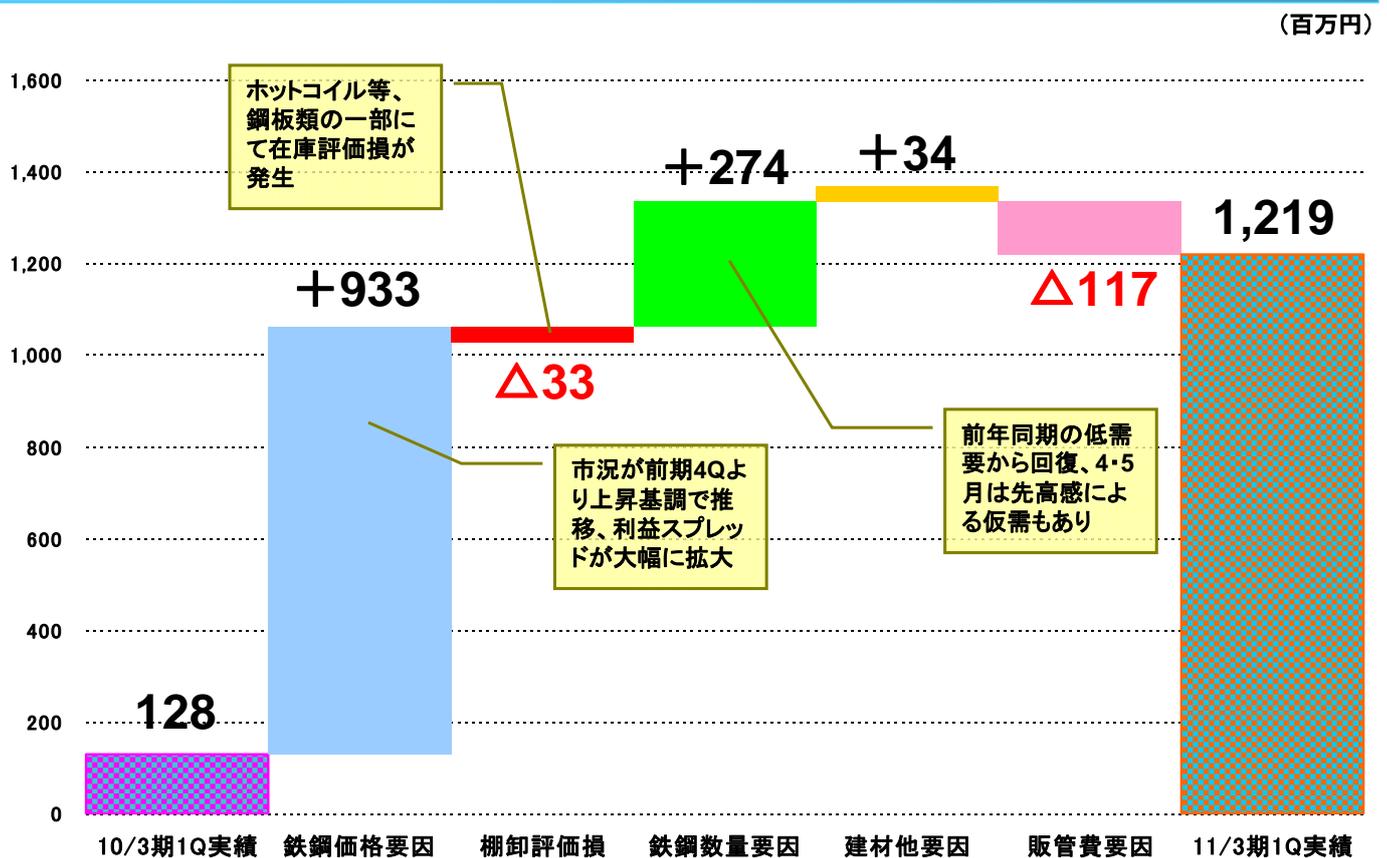
## 2011/3期1Q総括①前期および計画との差異

- 原材料高要因により鉄鋼市況は上昇、大幅な増収増益を達成したものの、需要の底ばい状況は続いており、厳しい環境は継続

(百万円)

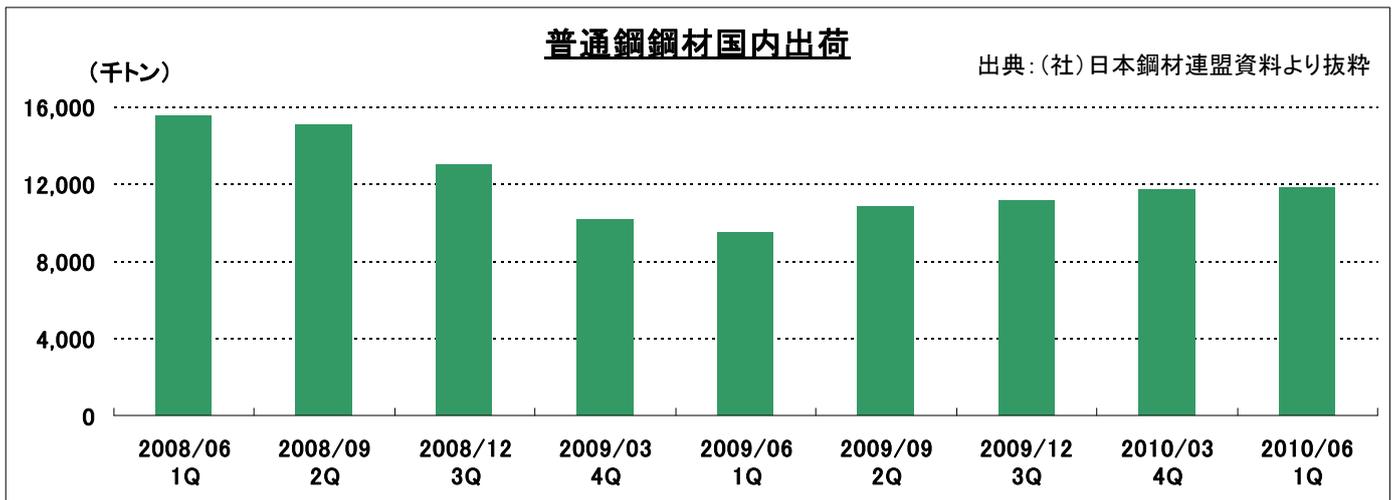
	2010/3期 1Q実績	2011/3期 1Q計画	2011/3期 1Q実績	計画差異	2011/3期 通期計画
売上高	25,166	29,261	29,568	+307 (+1.0%)	127,886
売上総利益	1,696	2,442	2,904	+462 (+18.9%)	10,309
営業利益	128	637	1,219	+582 (+91.4%)	2,926
経常利益	198	674	1,261	+587 (+87.1%)	3,038
当期純利益	74	399	924	+525 (+131.6%)	1,765

## 2011/3期1Q総括②営業利益/前年同期比変化要因



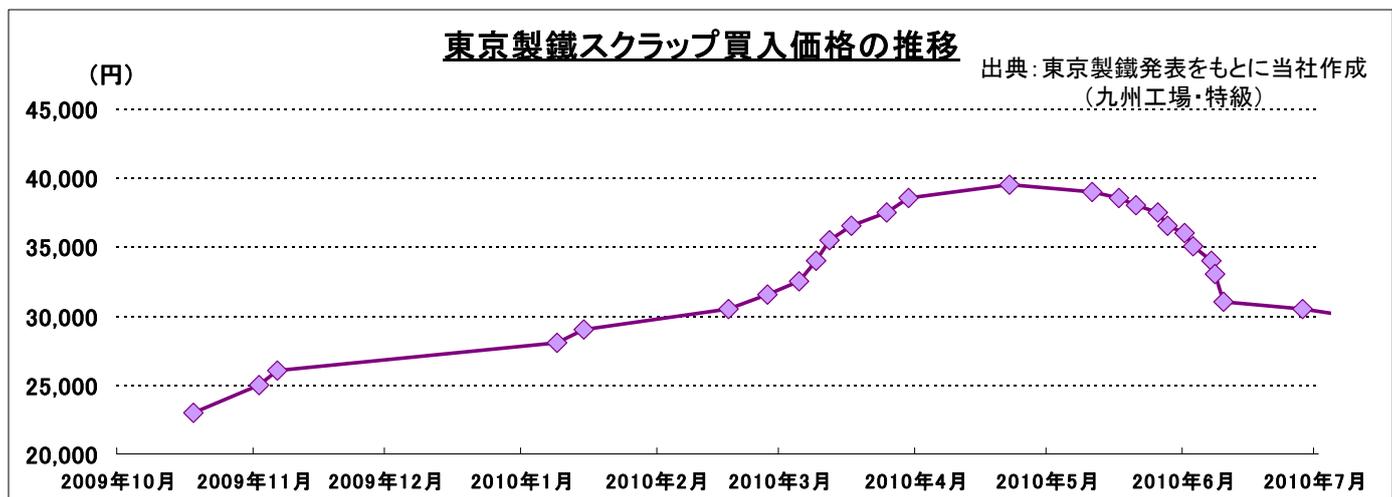
## 2011/3期1Q経営概況①

- 需要面は依然として低調に推移
  - － 回復基調にはあるものの、設備投資の根本的な回復は未だ見えず
- 川下戦略に注力、ユーザー層開拓で鉄鋼商品販売数量を確保
  - － 各本支店、横浜鋼業でユーザー開発チームを拡充



## 2011/3期1Q経営概況②

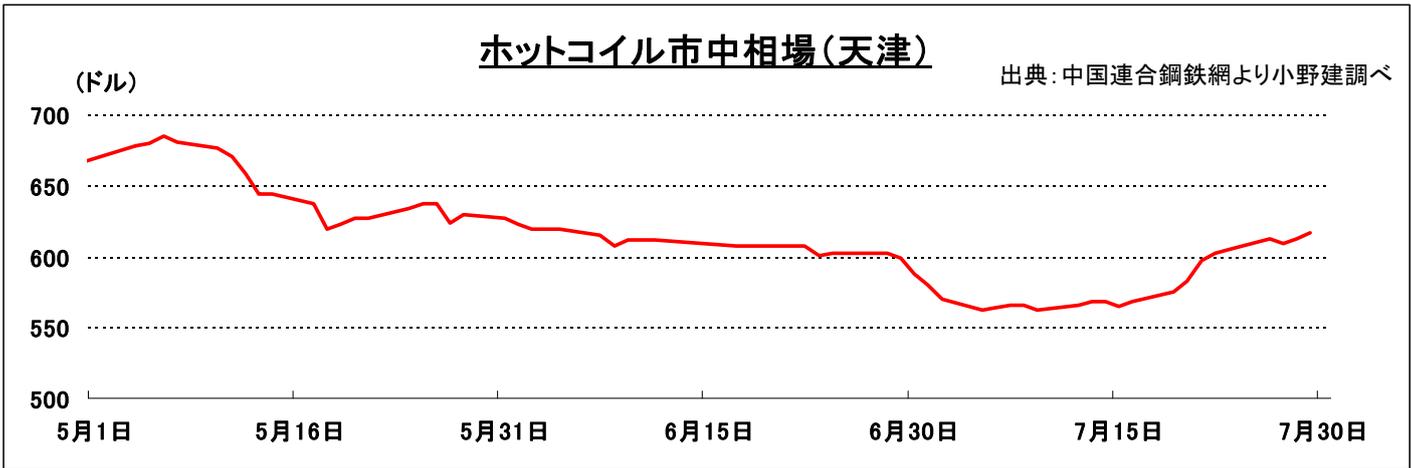
- 前期4Qから今期1Qにかけての市況上昇による仮需の発生
  - － 二次店向け販売の増加により市中在庫が増加
- 5月中旬以降はスクラップ価格の下落により市況は急速に下落
  - － 実需が低調に推移する中で販売競争が激化
  - － 在庫調整を含めた流通間での販売合戦により市況下落に拍車



# 中国鉄鋼市況の動向

## ホットコイル市中相場(天津)

出典: 中国連合鋼鉄網より小野建調べ



- 中国各主要メーカーにて減産の動き
- 市況下落による買戻しの動きはあるものの、今後の動向は非常に不透明な状況

## 品種別販売状況(小野建単体)

(百万円・千トン)

	10/3 1Q実績	11/3 1Q計画	11/3 1Q実績	11/3上期計画	11/3下期計画	11/3通期計画
鋼板類	6,778	6,529	8,325	13,201	13,500	26,701
(販売数量)	93	93	115	188	189	377
売上総利益	494	547	695	1,111	1,141	2,252
条鋼類	7,971	8,286	8,335	17,147	16,833	33,980
(販売数量)	84	94	91	194	188	382
売上総利益	465	741	1,041	1,522	1,500	3,022
丸鋼類	4,424	5,038	5,110	10,431	10,782	21,213
(販売数量)	64	76	78	158	163	321
売上総利益	241	324	306	672	712	1,384
建設機材商品	2,172	2,642	2,191	5,772	6,922	12,694
売上総利益	114	128	117	286	350	636
建設機材工事	2,020	3,843	3,182	9,043	10,778	19,821
売上総利益	105	222	159	509	598	1,107
その他事業収入	196	183	183	362	357	719
売上総利益	130	104	110	201	199	400
売上高	23,564	26,524	27,328	55,959	59,171	115,130
(販売数量)	242	265	285	541	540	1,081
売上総利益	1,553	2,068	2,431	4,304	4,499	8,803

## 連結損益計算書(解説)

- 特別利益
  - － 固定資産売却益(194百万円) 賃貸用土地
  - － 受取保険金(138百万円) 三協則武鋼業分
- 特別損失
  - － 役員退職慰労金(56百万円) 三協則武鋼業分
  - － 資産除去債務(40百万円) スレート倉庫分(アスベスト)
- 連結対象子会社の業況
  - － 西日本スチールセンター(株)
    - ジャンボレベラーの償却負担が大きく、数量の増加がポイント
  - － 横浜鋼業(株)
    - 同業他社向け販売が順調に推移、今後の市況動向に注視
  - － 三協則武鋼業(株)
    - 産建機向け販売が牽引し販売数量が計画を上回る

## 連結損益計算書

(百万円)

	10/3 1Q実績	11/3 1Q計画	11/3 1Q実績	11/3 上期計画	11/3 下期計画	11/3 通期計画
売上高	25,166	29,261	29,568	61,926	65,960	127,886
売上原価	23,515	26,819	26,664	56,849	60,728	117,577
売上総利益	1,696	2,442	2,904	5,078	5,231	10,309
販売費及び一般管理費	1,567	1,805	1,684	3,686	3,697	7,383
営業利益	128	637	1,219	1,392	1,534	2,926
営業外収益	86	54	71	95	84	179
営業外費用	17	17	29	35	32	67
経常利益	198	674	1,261	1,452	1,586	3,038
特別利益	42	—	333	—	—	—
特別損失	45	—	99	—	—	—
税引前当期純利益	195	674	1,494	1,452	1,586	3,038
法人税・住民税及び事業税	121	273	523	599	665	1,264
当期純利益	74	399	924	848	917	1,765

## 連結貸借対照表(解説)

### • たな卸資産

– 条鋼類の在庫数量の増加と在庫平均単価の上昇によるもの

- 条鋼類:2010/3期末 36千トン → 2010/6期末 46千トン ※小野建単体
- 在庫単価:2010/3期末 59千円/トン → 2010/6期末 64千円/トン ※小野建単体

### • 短期借入金

– 在庫量増加見合いでの増加要因

- 輸入鋼材決裁の増加
- 在庫金額の増加

– 設備投資分の支払発生によるもの

- 川崎センター分:1,126百万円

## 連結貸借対照表

※各詳細項目は主要項目のみを記載しております(百万円)

	2009/9実績	2010/3実績	2010/6実績
流動資産	50,787	47,774	51,161
現金及び預金	1,492	1,409	1,558
受取手形及び売掛金	35,743	36,250	37,271
商品	10,027	7,850	9,146
固定資産	29,723	32,317	33,800
有形固定資産	27,370	30,267	31,833
投資その他の資産	1,747	1,509	1,416
資産合計	80,511	80,092	84,961
流動負債	34,932	34,560	39,127
支払手形及び買掛金	26,228	23,929	24,600
短期借入金	4,450	7,015	10,315
一年以内返済予定長期借入	116	575	300
固定負債	2,382	1,712	1,545
社債	300	100	100
長期借入金	588	152	127
負債合計	37,314	36,273	40,672
株主資本	42,968	43,556	44,169
資本金	3,780	3,780	3,780
純資産合計	43,196	43,818	44,288
負債・純資産合計	80,511	80,092	84,961

## 2011/3期 今後の経営環境①

### 【2Qにおける不安定要素】

- スクラップ価格の下落傾向にともなう鉄鋼市況の低迷  
⇒スクラップの底打ちタイミングはいつか？
- 棚卸評価損の発生懸念  
⇒市況が上下する中で仕入タイミングの見極めが必要
- 需給バランスが低位均衡に向かう中での競争激化  
⇒販売先に対する与信リスクの増大

## 2011/3期 今後の経営環境②

### 【下半期に向けての明るい兆し】

- 民間投資を中心に案件数は徐々に増加傾向
- 産建機の需要拡大が顕著
- 中国・韓国等での鉄鋼商品価格の反転上昇
- 国内外ともメーカーの減産強化による需給バランス調整の推進